

活動状況報告書（11月分）

学生留学コース 樋谷 賢太

北海道では冬将軍が迫り来る中、バレンシアはまだ暖かく毎日25度くらいあります。確かに朝は少し寒さもありますが、お昼には燦々と太陽が眩しいです。

10月になってブラジルのリオデジャネイロ大学からポスドク(研究員)のPaulaが研究グループに加わりました。3ヶ月ほど滞在する予定です。Paulaは2018年にもCEU大学に2年ほど留学に来ていたようですが、その際にバレンシアのことを偉く気に入ったようで、また研究費を頂いて留学に来たとのこと。ブラジルの研究者の先生は本当に優秀な先生が多いという印象です。意外のように思われますが、アメリカの歯学部教授に占めるブラジル人の割合は大変多く、歯科の世界ではブラジル人研究者の活躍している分野も多くあります。理由としましては、アメリカ人の多くはお金を稼ぐために歯科医師になっているので大学に残る人は少なく、一方でブラジルには歯学部が300校と飽和状態であるため、優秀な研究者は生活環境の改善などを求めてアメリカに進出されることも多いようです。日本の歯学部の数は30校程度しかないので人口に対してどれだけブラジルで歯学部が多いのかわかります。またブラジル人はポルトガル語に加えて、英語やスペイン語に堪能な方も多く、研究をする上で言語の壁を越えられるのは大きなアドバンテージだなと感じました。ちなみに自分が在籍している北海道大学の研究室の准教授のモニカ先生も日系のブラジル人の先生です。Paulaが研究チームに加わり、みんなで写真を撮りました(写真1)。

研究も順調に進んでいます。その中でも印象的だったのがFIB-SEM(イオンビーム収束式走査型電子顕微鏡)での実験サンプルの観察です(写真2,3)。SEM(走査型電子顕微鏡)は材料の表面を観察する上で非常に有益な顕微鏡です。そのSEMにFIB機能が付くことによって、材料をイオンビームで削りながら材料の内部を観察することができるのがこの顕微鏡の優れた点です。SCIOS2という顕微鏡を使用させていただいたのですが、日本では東京大学と大阪大学にしか置いていない顕微鏡なので、大変貴重な経験となりました。

バレンシアはパエリヤ発祥の地としても有名です。地中海に面しておりシーフードパエリヤがとても美味しいです(写真4)。ただレストランでバレンシア風パエリヤといえばシーフードではなく鶏肉とうさぎ肉を使ったパエリヤのことを指します。バレンシアに初めて来た際に、バレンシア風パエリヤを頼んで食べましたが、ウサギ肉と気づかずに食べていました。当時はバレンシア風パエリヤとは何を指すのか知らなかったのが、気にせずに食べられていましたが、うさぎ肉は日本人に親しみが少なく、自分はシーフードパエリヤの方が好きです。ちなみにうさぎ肉の味はほとんど鶏肉と変わらなかった記憶です。

海外は治安が悪いと言いますがスペインも例外ではありません。バレンシアはスペインの中では比較的治安の良い方だと言われていますが、日本と比べると治安が悪いのは確かです。先日バレンシアの観光地を歩いていたところリュックを開けられて財布をすられてしまいました。自分では注意をしていたつもりでしたが、それでも不十分だと反省しました。財布の中には現金€80(12000円)ほどとクレジットカードが4枚、そして運転免許証が入っていましたので財布が無くなったことに気づいた時には大変落ち込みました。正直クレジットカードがないとヨーロッパで生きていくことはできないというくらいヨーロッパはクレジットカード社会なので、そのクレジットカードを止めてしまうことは留學生活に大きな支障をきたすことは間違いなかったからです。犯人が誰かも分からないですし、警察に行ってもまともに対応はしてもらえないと言います。自分は幸運にもパスポートは無事でしたが、財布だけではなくリュックごと盗まれるケースも多く、バルセロナの日本領事館にはパスポートを盗まれた日本人で溢れていると聞きました。ただ幸運にも自分の財布は事件現場の近くのゴミ箱にありました(写真5)。財布が盗まれた後に一縷の望みをかけて近くのゴミ箱を探し回りました。現金だけ抜かれて、クレジットカードと運転免許証は無事だったのは不幸中の幸いだったという他ありません。最近ニュースで日本人の観光客がバルセロナで動画配信中に首しめ強盗にあったというニュースを見ました。バルセロナはヨーロッパの中でも一番盗難が多いと言

われています。犯行時の動画を見ると強盗犯がアラビア語を話していました。スペインの治安が悪いと言ってもスペイン人が犯行をしていることもあります。移民が来て仕事が無く、スリなどを行っているケースも多いと現地の人から聞きました。日本は移民に対して厳しいですが、今後どうなるのかを考えさせられました。財布を盗まれたことでスペインという国を嫌いになりかけましたが、必ずしもスペイン人が悪いわけではなく、治安の悪化もスペインだけではなく EU 全体の政策にも問題があったのではないかと感じます。これから留学に行く人には同じような被害に遭って欲しくないの、気をつけてほしいと強く感じました。海外に安全な地域など無いというのが率直な感想です。

写真 1： 左から Paula, 自分, 台湾人の Jeff, Sauro 先生

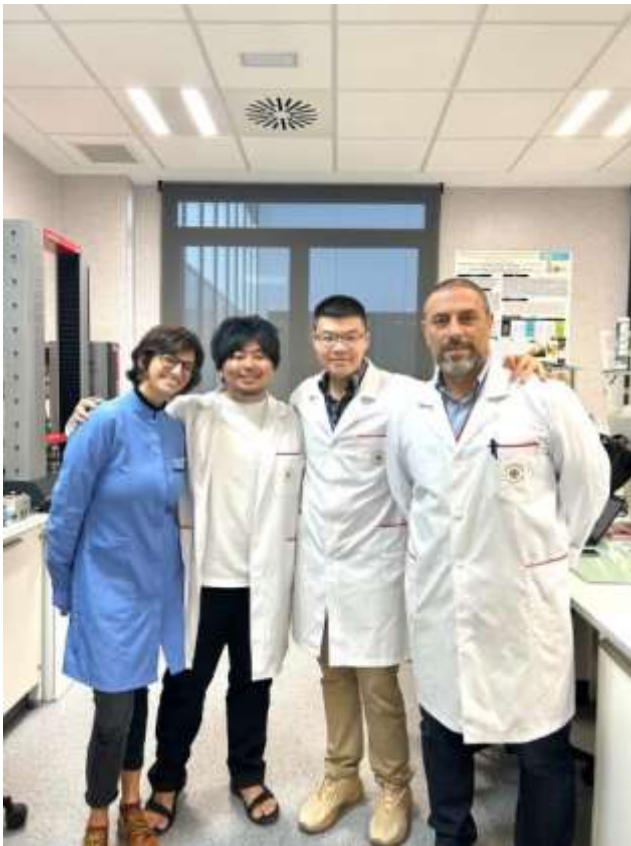


写真 2, 3: 顕微鏡と活動風景



写真 4: シーフードパエリア



写真 5: 財布が見つかったゴミ箱

